



発行：編集人 佃月島新聞制作委員会 佐久間保人
編集室 〒103-0014中央区日本橋蛸殻町1-5-1-3F ㈱ハートベルカンパニー内
電話：050-1746-8579 メール info@tsukutsuki.com HP tsukutsuki.com

佃月島新聞の配布にご協力を！ボランティア募集中
リバシティ10号棟、コーシャタワー、月島ホームズ、ザ・クレストタワーにお住まいの方、月島一丁目三丁目などでお近くのマンションへのボランティア配布を募集しております。新聞をご自宅にお届けいたしますので、一週間ほどの間で毎月10分ほど200部程度の配布をお願いできませんでしょうか。
新聞を応援いただいている企業サポーター 後援をいただいている町会・自治会・団体、個人サポーターの方はホームページに掲載しております。

つつき新聞 電子版増刊号 を発刊しました！！

掲載しきれない記事！
先日読者から掲載希望の依頼がありましたが、2月号の編集割り付はほとんど終了しており、3月号に掲載することになりました。また毎号発行後に寄せられる読者からの感想もスペースがなく、掲載できません。それならこの電子版増刊号の発行で解決できますね。

令和3年(2021年)
1月10日
発行：編集室 〒103-0014 電話：050-1746-8579
電子版増刊34.5号
35号と34号の間で34.5号の配信は10日です。

年末に思いがきました。毎月一回の発行ですが、前月の半ばには完成しています。1月号は12月13日にインターネット印刷業者に入稿しました。パーソナル編集長というソフトを使い、PDF原稿で期間8日間でローコストで製作しています。ですから新聞とはいえずから新開とはいえずから新開とはいえずから新開...
電子版をホームページ上で発行すればいい。

tsukutsuki.com ホームページ限定

経費がかかりません！
増刊してもインターネット上で印刷する経費もかかりません。現在約900通のメールマガジンで毎月25日頃に配信しています。創刊から7年間の間に蓄積した顧客名簿は1200件を超えています。佃月島地域以外の方にもお届けができます。



SNS ワーシャル・ネットワーク・サービ
スとの運動
ワークサービス
1月下旬に創刊予定の地域雑誌「佃・月島」の製作時に、「芝浦工大の学生が「インスタグラム」で広報する効果を研究していました。「イン

「えーやっつとFBやLINEをマスターしたのにおじさんおばさんの悲鳴ががります。ツイッターはトランプ大統領の話でよく出てきましたね。つぶやくように約140文字以内の短い文章や画像などをやり取りするSNSです。登録は済ませましたが、よく使



スタグラムとは、Book社が提供している無料のSNS写真共有ソフトです。主にスマホで利用されており、学生たちはフェイスブック(FB)よりインスタで気軽にコミュニケーションを図っています。

早速インスタ効果
インスタを開いた直後に「月島源平」さんから連絡がありました。企業サポーターのお申し込みです。また「クロ」を展開しているZAP様からも取材依頼です。まだ3枚の画像しか発信していないのに、もうフォロワーも50人近くに増えました。今後もホームページやFBをしてインスタ、ツイッターなどと紙面の連動を図って行きま

「えーやっつとFBやLINEをマスターしたのにおじさんおばさんの悲鳴ががります。ツイッターはトランプ大統領の話でよく出てきましたね。つぶやくように約140文字以内の短い文章や画像などをやり取りするSNSです。登録は済ませましたが、よく使

ミッドタワーグランド入居始まる

平成29年3月に着工した月島1丁目の「MID TOWER GRAND」に移転店舗、新店舗の入居が始まりました。9月号で移転していた店舗の入居状況を掲載しました。

ふるさと	タワーに	もんじゃ麦	タワーに
小野	タワーに	もんじゃや太郎	タワーに
米久肉店	現店舗で営業	もんじゃ哲ちゃん	廃業
風月	現店舗で営業	月島テレビ	廃業
居酒屋まさみ	現店舗で営業	中華ハマちゃん	現店舗で営業
なかや洋品店	タワーに	居酒屋たつや	現店舗で営業
AQUA	タワーに		

12月末までに開店した店舗を取材しました

昔の雰囲気を残した移転組ですね。当時、移転先が不明だった「みつちやき」さんも戻ってきました。「太郎」「小野」の移転は遅れているようです。



新規出店の店舗です。「まるた」「誠」からの移転となり、中央区を中心に飲食店を展開している「鳥番長」が「魚釜」「巻山」を出店しています。「鶏関」や「山形山」が同系列です。そういえば系列店看板の雰囲気が似ています。パチンコ「AQUA」は看板は出ていますが全貌がまだ見えません。

月島の町中華全制覇で取材させていただいた「一心」が12月30日に閉店しました。編集長の「町中華」の定義



・赤いカウンターの丸椅子。ル席と丸椅子。・餃子、ラーメン、タンメン、他にオムライス、カレーライスもある。・ご主人と奥様または息子が働いている。・外にはホコリ紛れのサンプルケースがある。・味付けは味の素らしい。・ビールは瓶ビール。・本場中国人ではなく日本人がやっている。本格的中華ではない。

あと月島に残る町中華は健康、はまちゃん、生駒軒。町の文化でもある街中華をみんなで応援しましょう。

懐かしの西仲味久



ここも昨年閉店しました。町中華ではないのにラーメン、タンメン、うどん、そばもありました。画像は編集長のオンライン飲み会の背景に使用しています。寂しくなります西仲通り。

いきいき勝どき講座に参加してみませんか

運動系の講座は、ストレッツを中心としたゆるやかな体操から、有酸素運動のものまであります。文科系の講座は、歌の講座も始まり、英会話や手話、俳句、脳トレ、スマホ講座などを実施しています。



各講座3月分を、運動系は2月9日から、文科系は2月15日から募集します。また、毎月最終週の日曜日には

「杉並江戸落語研究会」の皆様により寄席を開催しています。ぜひ敬老館にお立ち寄りください。



※敬老館のご利用には、利用者の登録が必要です。ご利用いただける方は、中央区在住で満60才以上の方です。登録には、健康保険証など住所と年齢が確認できる証明書が必要です。



編集長のシルバー川柳

いつもはシルバー川柳(中央)クラブの皆さんの作品を掲載していますが、増大号は編集長が独占です。



家族みな 親た紅白は今なし

一言コメントも編集長です。歌手名がわからず、TVも別々一家で見た昭和紅白懐かしい

おめでとー 素直に

良い年が来ると思いたいけど、おめでとーがなぜか白々しい

粛時間 戻して

もううぜ 倍返し 高齢者にとっても、貴重な時間を今年取り戻したい

地域雑誌「佃・月島」創刊号を差し上げます

1月号で紹介しました地域雑誌「佃・月島」が1月下旬発行されます。月島長屋学校メンバー他の熱意で創刊にこぎつけました。



ライターや編集として参加させていただきましたが、ひとりで勝手に編集している佃月島新聞と違って、発行人の志村先生や編集のリーダー小坂さん、中央区文化支援事業の一環として「佃島・月島百景」を主宰している宮本さんなど多くの人達との協働作業でした。

次号の予定は決まっていませんが、まず地域の人たちに雑誌が読まれ、次も読みたいと支持を受けることが第一と思います。ターゲットは地域住民と商店、訪れる観光客。多くの方々からアイデアを頂戴し、共に育てていただくことが肝心です。ぜひ創刊号への皆さんのご購読とご意見、ご支援をお願いいたします。

ご購読は、もんじや振興会、西仲商店会事務所、佃月島新聞設置店、または編集部までご連絡ください。1月20日以降に順次お届けしてまいります。

いつもの半分、A4二枚分でしたが、年末年始の暇な時間に増大号を編集しました。さらに盛りだくさんの情報です。

執筆時は大晦日ですが、紅白歌合戦は知らない歌手ばかりです。裏番組は「年忘れ日本のうた」です。

「さくらと一郎」の昭和枯れすゝきです。力の限り生きていく未練などないさ

幸せなんて望まぬが人並みでいたい 苦しさに耐える

二人は枯れすゝき なんて心に染みる歌詞なのでしょか。なぜか感傷的になつてしまふ年末です。

昨年「オヤジの四時から飲み」で知り合ったリバーシティ21新参者の「ケイコとアツシ」さんからこんなメールです。

お！電子版いいですね。その評判も上々で素晴らしいです。これ、地元の方々はメール配信で読んでいらつしやるのかしら？皆さんのITリテラシーがどこまで上がるかが、今後の読者層拡大の肝なのでしょうね。

どうしても紙で見たい、保存しているのととの読者にはA4増刊号を印刷しました。ご希望の方はお申し込みください。不定期ですが今後も増刊号をお楽しみに！